

同窓生のための会報誌

和敬会だより

第28号



「めぐる」 児童学部 教授 大河原典子

星雲の誕生を思わせるような混沌の中から命が躍動し始め、次第に花びらと茎と葉との確かな象りを取り、四方八方に激しく飛び散るように絢爛豪華な大輪を咲かせ、その菊が少しずつ衰えながら黒く萎んで、やがて陰りの中で命を終えていくのですが、しかしその中につつましやかな黄金色の種子を宿し、新しい命の誕生を暗示するという、正に「めぐる」というにふさわしい物語に構成されています。

鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬 1420
☎ 0467-44-4119 (毎月第1、第3火曜日の10時から14時)

和敬会HP <https://www.wakeikai.net>

鎌倉女子大学和敬会

検索



和敬会の皆様

理事長 福井 一光

和敬会の皆様におかれましては、ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より物心両面にわたり母校の教育研究活動にご支援を寄せて頂きまして心から感謝申し上げます。

さて、2025年度の男女共学の短期大学部初等教育学科通信教育課程(Online)の開設、26年度の中等部门・高専部の男女共学化と教育メディアクリエーション学環の設置と、新しい計画を実行に移してまいりましたが、ご高承の通り、2040年に向けた厳しい日本の高等教育状況に対応出来る学校創りを目指し、29年度より大学部も完全男女共学に移行する運びとなりました。

経営的判断は勿論ですが、入学選抜の質的水準も学友会の多彩な活動も維持しなければならぬ教育的判断にもよるものです。お陰様で準備も順調に進んでおり、全

学力強い相乗効果が生まれています。

共学化の発表後、卒業生を始め、会う人話す人、かなりの人から、第一声「おめでとうございます」と言われました。こう思いました。逆境転じて福と為すだと。今、女子大学は、何処も逆境にあると言われる

わけですが、この逆境がなかったら、果たして私達は、自発的に共学化に舵を切ったかどうか、またそう思っても切れたかどうか、ということは、この逆境があったからこそ、鎌倉女子大学は共学化して、大学として別な形で飛躍するチャンスを得たと。

言うまでもなく、学祖・松本生太先生が掲げた「建学の精神」は、男女別学・共学を問わず、古今東西の変わらぬ普遍の教育原理であり、私が担当する「建学の精神」の授業内容も一字一句全く変える必要はありません。今後この精神を永遠に継承し、新しい時代を担う有為な青年を養成すべく一層精進してまいります。また、共学化する以上は、本学が長年にわたって培った経験や知見に基づくキメ細やかな学生指導・実習指導・就職支援等々、本学ならではの男女共学教育に活かしていかなければならないと思っています。

やることは誠に多い。でも、夢が広がっていきます。



出合いに感謝

会長 深山 喜美子

自然災害や異常気象の心配が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より和敬会活動にご理解とご協力をいただき心より感謝いたします。

和敬会の活動は、主に和敬会だよりの発行、みどり祭での卒業生の集いの場「カフェ和敬会」の運営、地方支部の活動などを通して、卒業生の皆様とのつながりを深めております。

昨年11月の「カフェ和敬会」では、初等部と高等部の卒業年度代表の方がお手伝いに来てくださいました。お友達を誘ったり声掛けをしてくださったりして大活躍でした。次回もぜひ、卒業年度代表の方のご協力をお願いいたします。私もお茶とお菓子を手渡しながら会員の方とお話をすることがとても楽しみでした。神奈川県内や関東地方の会員だけでなく、遠くにお住まいの方もこの機会を楽しみに参加してくださいています。「カフェ和敬会」の会場を集合場所にしてミニ同窓会を開いている方々や、親子三代でお出でになった方、卒業後初めて参加した方、恩師に会うことを楽しみにいらした方など、集いの場に集まった理由は様々ですが、ごなとも久しぶりの再会を心から楽しんでおられました。まだ、みどり祭にいらしたことはない方も、

今年の秋はぜひ足を運んでください。思惟出合いに心が温かくなることでしょう。

母校も、昨年4月から短大の初等教育学科通信教育課程が開設され、今年4月から中等部门・高等部の男女共学化がスタートし校名も「鎌倉国際文理中学校・高等学校」として新たな歩みが始まります。大学では教育メディアクリエーション学環が開設され、いよいよ2029年には男女共学の鎌倉大学（仮称）として学園が発展していきます。母校の新たな歩みを一緒に応援してまいります。

今年度も、会員の皆様のご協力をいただき、和敬会の活動を進めてまいりました。会員の皆様との出合いは私の財産です。人もの、ことこの出合いは、人生を豊かにしてくれます。同窓会や地方支部会での新たなつながりは、懐かしさを共有しながら、知見を広げ自分の可能性をも広げることにつながることでしよう。これからも「チーム和敬会」が、会員の皆様にとってより良い居場所になりますよう願っております。

【総会開催のお知らせ】

10月3日(土)、午前中に支部長会を開催し、午後から和敬会総会を8年ぶりに開催します。多くの卒業生にお集まりいただき、総会後の懇親会や校舎見学をお楽しみいただければと準備しております。



人生を変えた大学での出会い



昭和58年3月
家政学部
児童心理学卒業
高橋 弥生
(旧姓 佐久間)

46年前、私は京浜女子大学家政学部児童心理学に入学しました。黒い制服に身を包み、一般的な女子大生とは少々違う大学生生活を始めたのです。入学してすぐ、保育学研究室の存在を知りました。研究室という響きに魅力を感じ、その扉をたたきました。ここで私の人生を大きく変えることになった谷田貝公昭先生と出会ったのです。

初対面の谷田貝先生はまだ30代で、ピリピリとした厳しさと学問的な深い知識をお持ちの、いかにも学者という雰囲気でした。先生の前ではいつも緊張していましたが、授業は大変面白く、沢山の知識を与えていただきました。

谷田貝先生にご指導いただき卒論に取り組み始めた4年生の夏休みは、毎日のように国会図書館に通い資料を集めていた記憶があります。パソコンのない時代で、すべて手書きでしたので、ペンダコを作り眠気と戦いながら原稿用紙に向かいました。やっと完成した時の達成感は今でも覚えています。この経験はその後の研究活動の基盤となりました。

卒業直後は公立保育所に勤務したので

すが、同時に谷田貝先生が主催する研究会に参加させていただき、結婚、子育てをしている期間も研究会に顔を出し続けました。そのおかげで、40歳を過ぎた2003年から21年間、目白大学に勤務し保育者養成に携わる機会を得ることができました。研究者として本格的に歩み出すことになったのもこの時です。目白大学では、人間力や応用力のある保育者を育てたいという思いで、学生と動物の飼育をしたり、キャンプをしたり、子ども向けのイベントを開催したりと、忙しくも楽しい時間を過ごしました。今では保育現場で活躍する卒業生がたくさんいて、とても嬉しく感じています。

2025年3月にはこれまでの研究をまとめ、博士(教育学)の学位を取得することができました。自分の人生がこのような展開をするとは思ってもよくなかったです。大学時代の恩師、谷田貝先生との出会いに心より感謝したいです。



あの日の誓いと共に歩む



平成16年3月
初等部卒業
高崎 みさこ

「わたくしたちの誓い」を、皆さんも覚えていらっしやるでしょうか。「感謝と奉仕のこころ」「ぞうきんと辞書をもつこころ」「人・物・時を大切にすること」「これらの言葉は、卒業してから長い年月が経った今も、私の心の中に生き続けています。周りの人を尊敬し、小さなことにも真剣に取り組み、人を大切にすること。日々の生活の中で迷ったとき、ふとあの言葉が私を正しい方向へ導いてくれるのです。」

初等部での6年間で特に印象深いのは、学芸会です。先生方は本当に熱心に指導してくださり、時には厳しく、時には優しく、私たちを見守ってくださいました。友達と協力することの大切さ、一つの目標に向かって努力することの意味を、あの舞台を通して学びました。幕が上がった瞬間の緊張感、幕が下りた後の達成感。この経験が、後に大学・大学院で演劇教育を研究するきっかけとなり、今の私の専門性の原点になっています。

初等部の先生方は、いつも私たちの可能性を信じて、後押ししてくださいました。音楽会での指揮者や伴奏者、クラブ



あれから月日は流れ、今、私は母校の初等部で教員として働いています。子どもたちの可能性を引き出し、伸ばすことができる教員になりたいという夢を実現できたことは、私の誇りです。子どもたちの前に立つたび、あの頃の自分に「夢を叶えたよ」と報告している気持ちになります。

さまざまな場所で活躍されている同窓生の皆さんも、母校で学んだことが、人生の中で形を変えながら生き続けているのではないのでしょうか。これからも、胸を張って初等部の卒業生だと言える日々を重ねていきたいと思っています。

これからの母校

～未来に向けて進む道～

2029年

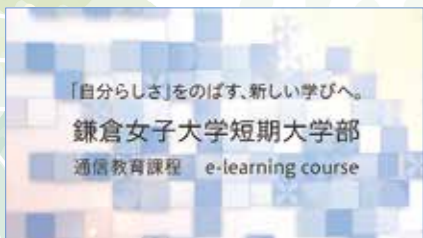
短期大学部
「初等教育学科 通信教育課程e-learning course」
開設から一年

初等教育学科 通信教育課程e-learning course

ホームページ



紹介動画



日本初の小学校教諭免許が取得できる通信制短期大学として、2025年4月に「初等教育学科 通信教育課程 e-learning course」(男女共学)を開設して一年が経ちました。今年度も全国から、年齢もキャリアも様々で幅広い層の新入生が新しい学びをスタートさせています。オンデマンド学修を中心にいつでもどこでも学べ、手厚い学修サポートを受けながら、受講者の生活スタイルに合わせた多様な学び方が実現できます。

鎌倉大学(仮称)の2040年に向けた
グランドデザインの構築と新たな挑戦!

2029年4月、「鎌倉女子大学」は、「鎌倉大学」(仮称)と名称変更し、
男女共学大学に移行します。
最新の情報は本学公式ホームページをご覧ください

2029年4月、「鎌倉女子大学」は、「鎌倉大学」(仮称)と名称変更し、
男女共学大学に移行します。



2025年

2026年

2026年4月
「教育メディアクリエーション学環」開設
—3学部1学環体制に—

教育メディアクリエーション学環



特設サイト



スペシャルムービー

「教育メディアクリエーション学環」は、教育学・児童学・心理学、そしてICTの幅広い領域を複合的・学際的に学ぶことができる学部相当の新たな教育組織です。最新機器の操作スキルやクリエーションスキルを高めることは元より、各種企業と連携しながら実践的なものづくりに取り組み、よりよい未来の学びの環境をデザインできるクリエイターを養成します。新学環の開設により鎌倉女子大学は、今年度から3学部1学環の新体制となりました。

「鎌倉国際文理中学校・高等学校としての歩み」



コミュニケーション講座

このたび、鎌倉女子大学中等部・高等部は、2026年度より共学に移行し、「鎌倉国際文理中学校・高等学校」として新たな歩みを始めます。

本学は、創立以来80年以上にわたり、「感謝と奉仕に生きる人づくり」「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」「ぞうきんと辞書を持って学ぶ」「人・物・時を大切に」を掲げ、多くの生徒を育ててまいりました。人としての品格と豊かな教養を重んじる教育は、卒業生一人ひとりの人生の礎となり、さまざまな分野での活躍に息づいています。共学化後も、この精神は、母校の根幹



オンライン英会話

として変わることはありません。むしろ、時代の大きな変化を受け、多様な価値観を尊重し、すべての生徒が自らの可能性を伸ばせる教育へと一層発展させてまいります。

新校名に掲げた「国際」は異文化理解と広い視野を、「文理」は文系・理系双方の総合的な学びの姿勢を象徴しています。教育課程も刷新され、「国際教養コース」と「総合文理コース」の二本柱を中心に、英語教育や国際理解、探究活動や文理融合型の学びを充実させます。協働的かつ主体的に学ぶ姿勢を育み、生徒一人ひとりが将来の

進路を自ら切り拓く力を養うことを目指しています。

授業改善を重ねつつ、学習面では、ICTの活用をはじめ、習熟度別授業、プレゼンテーションの充実など、多様な学習を行っています。中高6年間を体系化したカリキュラムのもと、確かな学力と学び続ける姿勢を育てています。共学化を機に理数教育を一層強化するとともに、英語教育では週7時間以上の授業にオンライン英会話や海外研修を組み合わせて、実践的な語学力の育成にも力を注いでいます。

また、キャリア教育では、自己理解から進路探究、高大連携や職業体験へと段階的に学びを深める体系を整えています。さらに、ユネスコスクールとしての活動、第二外国語の習得など、多角的な教育機会が生徒の可能性を一層広げています。

今回の共学化は、単なる制度上の変更ではなく、長く受け継がれてきた伝統を礎に、未来を拓く新たな教育を創造する大きな挑戦です。本学の精神をこれからも揺るがすことなく、その志を確かな形で未来へと受け継いでまいります。

みどり祭 初・中高・大短

2025.11.1-2 (大船)、11.8-9 (岩瀬)



大学テーマ

サイコロ
31高に楽しい みどりサイ



ゼミナール・学友会・有志教職員・地域連携団体らによる展示や発表が行われました。

中・高等部テーマ

咲き誇れ 女子校最後の 華たちよ



ゲームなどのイベントのほか、教科の展示やクラブ活動の発表が行われました。

初等部テーマ

みんなが育む七色の道
かがやくアイデア 探し出せ



日々の授業で取り組んだ課題や課内クラブからさまざまな種類の作品を展示しました

カフェ和敬会 ~卒業生の集いの場~

昨年に引き続き大船キャンパスと岩瀬キャンパスに出展しました。卒業以来、恩師や友人と再会して、話に花を咲かせ、中には子どもと一緒に訪れた卒業生もいました。また、メッセージボードには先生や在校生に向けたメッセージが送られました。



令和8年(2026年)みどり祭のお知らせ

- ・11月7日(土)、8日(日) 大船キャンパス
 - ・11月14日(土)、15日(日) 岩瀬キャンパス
- 卒業生の集いの場「カフェ和敬会」として参加します。詳しくは、和敬会HPにてご案内します。

地方支部・支部長

※支部の運営に協力していただけの方は事務局までご連絡ください

令和6年度
和敬会収支決算書

収入の部

費目	決算金額
同窓会費	4,991,000
雑収入	3,000
預金利子	5,081
前年度繰越金	74,725,478
合計	79,724,559

支出の部

費目	決算金額
名簿管理	62,898
和敬会だより出版費	4,755,464
支部費	490,348
H P 費	341,990
みどり祭費	119,062
運営費	475,382
事務費	405,040
設備・備品費	61,660
通信・連絡費	79,227
消耗品費	8,933
和敬会事務室使用料	144,000
慶弔費	0
総会費	0
支出合計	6,944,004
繰越金	72,780,555
合計	79,724,559

上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和7年8月5日

会計監査

丸山典子
鈴木百合子



メッセージボード



来年度からいよいよ共学化ですね。校歌がおっとり、ゆったりした曲調から少し勇ましく心が弾むアレンジになっていて嬉しく思います。益々素晴らしい学園になりますように♡ S・Y

毎年みどり祭に足をのばすたび、大学生の時の楽しかったあの頃を思い出します。今年は息子と二人で来られました。 S・M

この学校が大好きです。いつになってもいつでも会えるよう機会をください。 K・M



卒業後も支え合える仲間と出会えて良い大学生活でした。 K・S

「昭和から平成へ・京浜から鎌倉へ」今度は息子に新しい鎌倉を作ってほしいと思っています。 N・Y

久しぶりに訪れても落ち着く場所です！先生にもお会いでき嬉しいです。また良いご報告とお話ができるよう頑張ります。 I・H

支部会報告

関東支部

令和7年9月6日大船キャンパスカフェテリアで第1回関東支部総会が開催されました。25名の会員が出席され支部長に富永知佐子さんが就任されました。

北海道支部

深山会長、会員11名が出席され、学生時代の思い出や近況報告で楽しい時間を過ごしました。今年も10月第1水曜日に札幌で開催します。



甲信越支部

甲信越支部は、県ごとにお声かけして集まる場所を工夫されています。

学生時代の思い出、近況報告、支部会のメンバーを広げるためにどうしたらよいか、また、県単位で集いを継続できるようにという意見が出されました。

(山梨の会)

令和7年11月22日(土)甲府市で開催。

お子さま連れの会員や深山会長も参加され参加者は8名でした。

(長野の会)

令和7年11月23日(日)松本市で開催。

深山会長も含め参加者は6名でした。



訃報

長田 たけ 先生

元鎌倉女子大学中・高等部教諭
令和7年6月16日ご逝去 享年97歳

橋下 賢明 先生

元鎌倉女子大学中・高等部教諭
令和7年9月5日ご逝去 享年93歳

謹んで哀悼の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

高3ー1 長野組

「大好きな長野先生を囲んで」

渡辺紀子・杉田美香・千原久仁子



令和6年11月、昭和54年度高等部3年1組の同窓会が開催されました。6年前、約40年ぶりに開催された同窓会后、すぐにこの声が沢山ありましたが、コロナ禍もあり今回の開催となりました。久しぶりの再会は、会ったとたんに当時の呼び名で呼び合い学生時代の雰囲気になりました。また、修学旅行の時先生が陰でいろいろと尽力されていた話をはじめ伺い、改めて先生の教え子で良かったと思えました。

「お箸での小豆つかみゲーム」は大変盛り上がり、なんと先生が優勝され、次回もリベンジとなりました。現在も教育の第一線でご活躍され、東北の震災や災害の被災地に心を寄せられているお話も伺い、人生の先輩として見習う点ばかりで、長野先生との出会いに感謝しています。次回も元気にそして笑顔で再会することを約束し、会がお開きになりました。

和敬会総会開催のお知らせ

日時 令和8年10月3日(土)

13時30分～16時(受付13時)

場所 岩瀬キャンパス中・高等部校舎

4階大教室

内容 13時30分～ 総会

14時15分～ 懇親会

校舎見学等

会費 無料

参加方法

出席される方は二次元コードを読み込み氏名等をご入力ください。



締切 8月31日(月)

●ハガキでの参加申し込みも可能です。必要事項(お名前、ご住所、卒業部、卒業年度)をご記入の上事務局あてにお送りください

85	2478511	鎌倉市岩瀬二四二〇
鎌倉女子大学 和敬会事務局 行		
総会に出席します		
①ご芳名(旧姓)フリガナ		
②ご住所 〒		
③最終卒業の初・中・高等部・大学 学部学科名など		
④卒業年 年3月		

事務局からのお願い

住所・氏名等の変更

①二次元コードを読み込み【鎌倉女子大学和敬会】「名簿情報変更届」よりご入力ください。



②郵便(はがき・封書)での変更は、氏名・生年月日・卒業学校・届いた封書の宛名シールのバーコード下部に記載の8桁の番号を記入の上、変更事項をお知らせください。

和敬会会館の利用について

「和敬会会館」はクラス会や打ち合わせ等に利用できます。校内の一教室なので学校との調整が必要ですが事務局に連絡、相談いただきぜひご利用ください。ご利用方法につきましてはホームページをご覧ください。

鎌倉女子大学CNSサイト

<https://cns.kamakura-u.ac.jp/>

卒業生・教職員が利用できるコミュニケーションサイトを開設しています。ご利用の際には、下記リンクよりサイトにアクセスし、ご登録をお願いいたします。



寄付募集サイトについて

学校法人鎌倉女子大学では、寄付募集を行っております。ご支援をお考えの方は、下記サイトをご覧ください。

【寄付募集サイト】 <https://www.kamakura-u.ac.jp/donate/>

【お問い合わせ】 学校法人鎌倉女子大学 事務局経理部経理課 (募金担当)



鎌倉女子大学

<https://www.kamakura-u.ac.jp>

大船 キャンパス	大学院	大学 家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号	TEL.0467-44-2111(代表)	JR[大船駅]下車、徒歩8分
岩瀬 キャンパス	高等部(鎌倉国際文理高等学校)	中等部(鎌倉国際文理中学校)	初等部 幼稚部
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420	TEL.0467-44-2200(代表)	JR[大船駅]下車、バス約10分

あともがき

みどり祭「カフェ和敬会」卒業生の集いの場は今年も初等部、中・高等部、大学の卒業生にたくさん来場いただきました。同じ景色を分かち合い「根っこ」がつながっている安心感で、あつという間に共に学んだ頃に戻られて、楽しい時間を過ごすことができました。